

〒270-1516

千葉県印旛郡栄町安食938-1

ふれあいプラザさかえ 1階

子育て包括支援センター 子育て相談員

URL <http://www.town.sakae.chiba.jp/>

Eメール kosodate@town.sakae.chiba.jp

国民性はジョークのタネになる。世界的に知られるもののひとつがこれ。

豪華客船が沈み始め、船長は外国人乗客に脱出を促した。

アメリカ人へ→「飛び込めばあなたは英雄ですよ」

イギリス人へ→「飛び込めばあなたは紳士です」

ドイツ人へ→「飛び込むのがこの船の規則です」

イタリア人へ→「飛び込むと女性にもてますよ」



さあ、日本人にはなんと呼びかけたと思いますか？

→「みんな、飛び込んでますよ！」

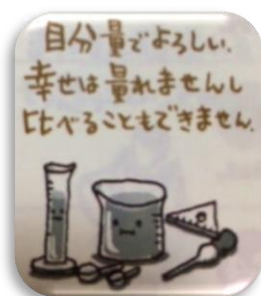
普段の生活の中で、上記の国民性が現れるさまざまな場面があります。

「右に倣（なら）え」の精神は、時として必要なこともあるけれど、日本人は特にその意識が強い傾向にあるでしょう。

それは、安心感という背景があるのかもしれませんが。

アメリカで教師経験のある友人がいます。ある授業で教師の質問に一人の生徒が、自分の意見を主張し始めました。たとえ、その意見が求められていたものと少し違っていても、教師はある程度聞くのです。その生徒は自分の意見を堂々と発言しました。また、みんながみんなそうではないけれど、海外の人は、少しだけできることでも「私はこんなことができます」と大きくアピールし、日本人はある程度できていることでも「それほどできません」と。奥ゆかしさを感じますね。

人生も子育ても、みんなそれぞれちがうのです。さまざまな情報や人の意見に迷うこともあるけれど、自分を信じて子どもを愛する。それが、子どもの自己肯定感につながり、自信を持って生きていく子に育っていきます。



最近、ちょっと気になっていました
ボンボヤージュの
「ちびギャラリー」シリーズ

